


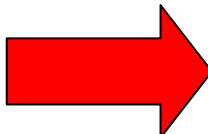
消費者金融規制の問題点

筒井義郎(大阪大学)

貸金業PT・第四回事務局会議

2009年12月8日

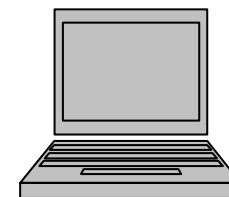
合理的な借り手と非合理的な借り手

- 合理的借り手・・・借りるべきかどうかを、自分にとって最も良いように判断できる人
- 典型的な借り入れ：一時的な所得の減少・支出の増加をまかなう
- 非合理的借り手・・・双曲割引(=今のことばかり考える)と、自信過剰(=自分を取り立てに合うことはない)  返済のことを無視
 過剰な借り入れ・破産

基本的な規制のスタンス

- 合理的な借り手については、規制せず、自由に借り入れさせることが望ましい
- 非合理的借り手については、借り入れを制限することが望ましい

消費者金融の借入者と債務整理者に対するアンケート調査



2006年5月

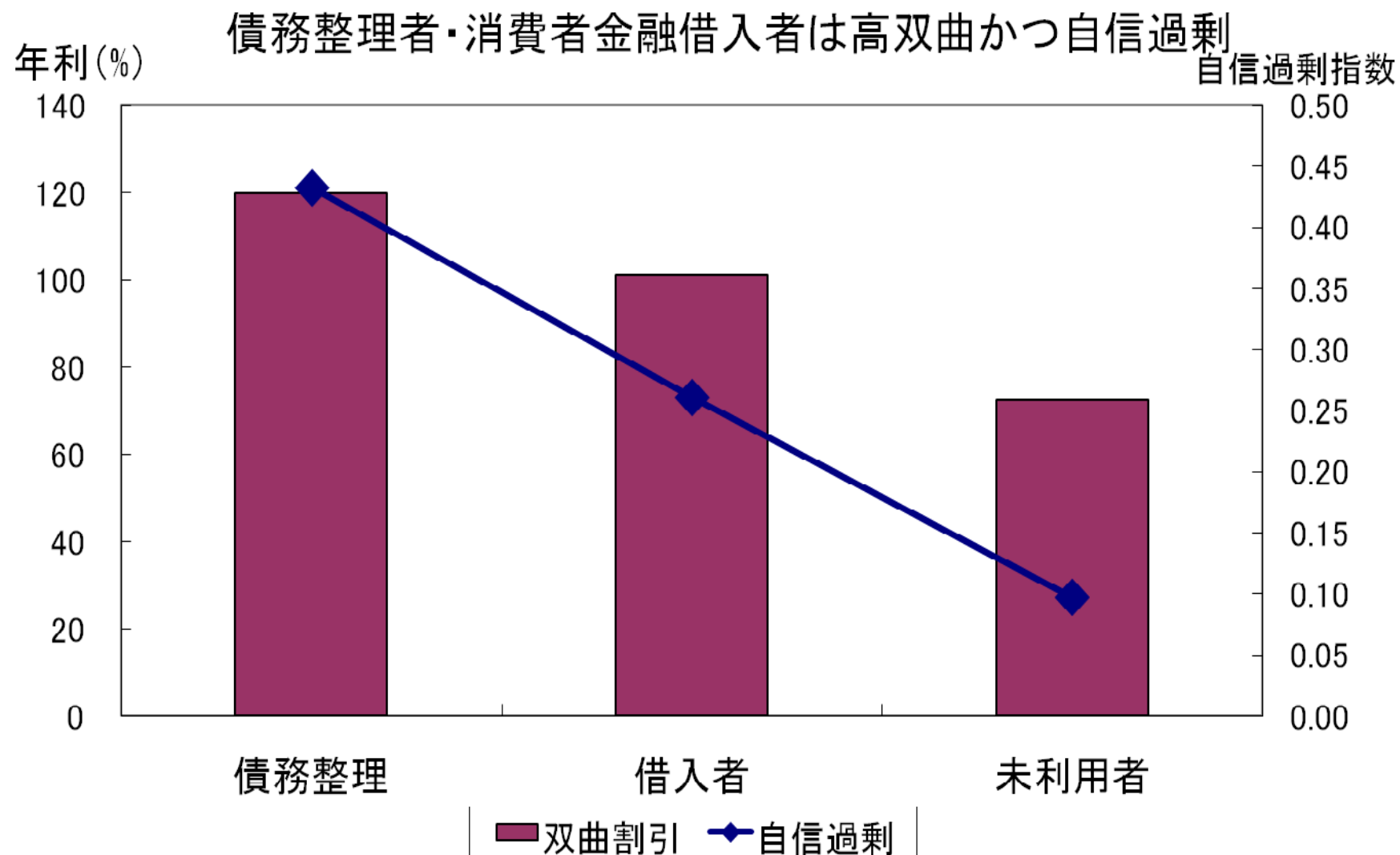
消費者金融未利用者	129,163人	
利用者	13,101人約9%
債務整理者	1,578人約1%



2006年12月

消費者金融未利用者	800人
利用者	1,148人
債務整理者	905人

債務整理者と消費者金融借り入れ者は高双曲かつ自信過剰



消費者金融からの借入は役に立ったか

借入経験者の1/3、債務整理者の1/4が
「大変役に立ち、助かった」と回答。
「まあまあ役に立ち、助かった」を加えると、
それぞれ、85%、70%に達する。

		合計	A	B	C	D
全体	割合(%)	100	30.4	52.3	11.3	5.9
利用者	度数	1148	358	608	120	62
	割合(%)	100	31.2	53	10.5	5.4
債務整理者	度数	905	220	425	166	94
	割合(%)	100	24.3	47	18.3	10.4

A 大変役に立ち、助かった、B まあまあ役に立ち、助かった、C あまり役に立たなかった⁶
D まったく役に立たなかった

「あなたはこれまで借入れを受けられたわけですが、もし、そのときの金利や期間などの借入れ条件で借入れができなかったとしたら、どうしましたか。」

債務整理を経験したことがない借入経験者の約10%が、
「どうすることもできず、大変な苦境に陥った」

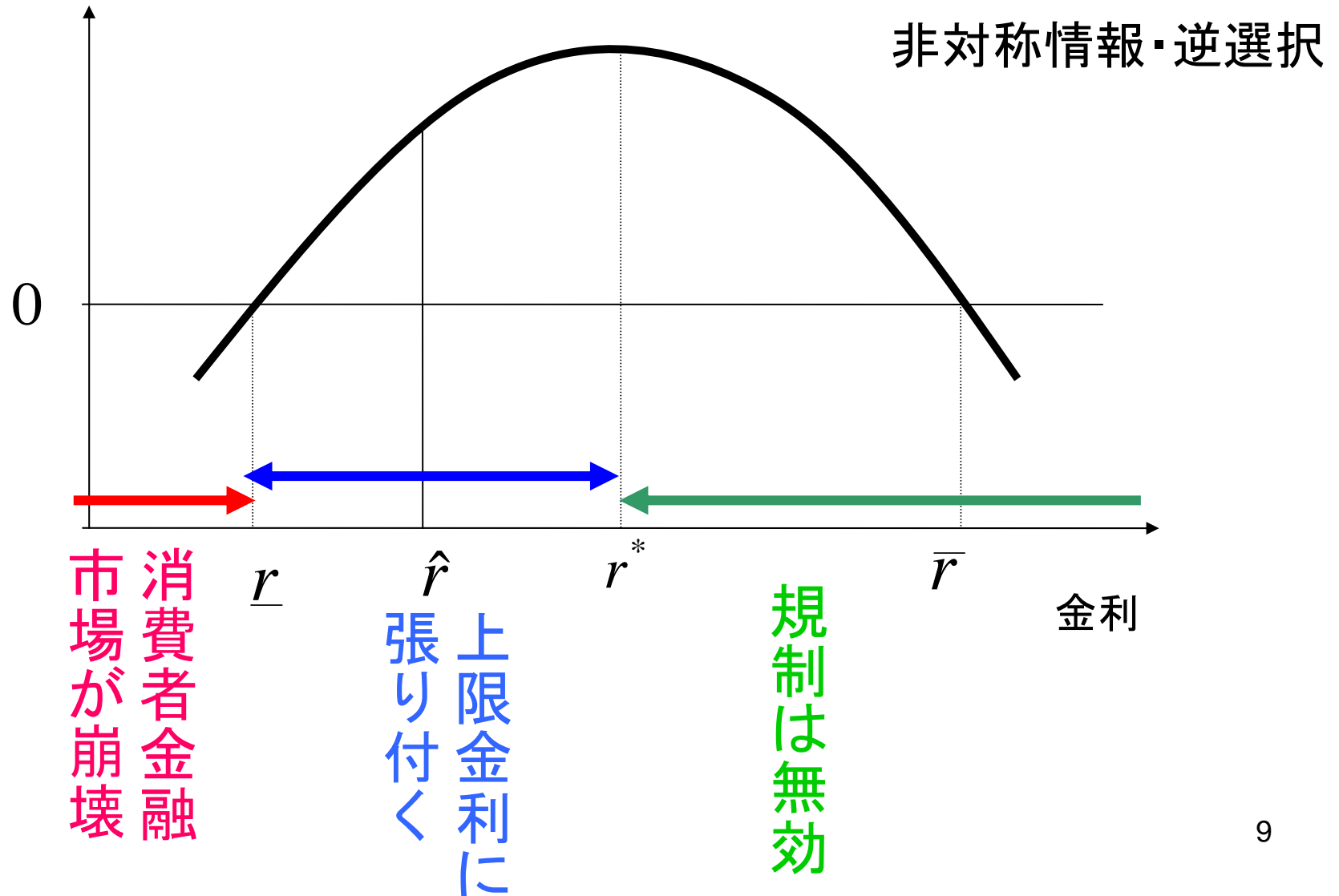
債務整理者では、そう回答している人が、1/4以上

上限金利規制の問題点

- 合理的借り手にまで規制の影響が及ぶ
- 望ましい借り入れ水準が不明
 - 高すぎると、規制は無効
 - 低すぎると、消費者金融市場が崩壊(凶)
 - 短期かつ小額の借り入れは、長期かつ高額の借り入れより高金利を受け入れる(凶)
 - インフレを引いた実質金利でないとダメ
- そもそも、非合理的な人の借り入れを減らさない

規制金利水準の影響

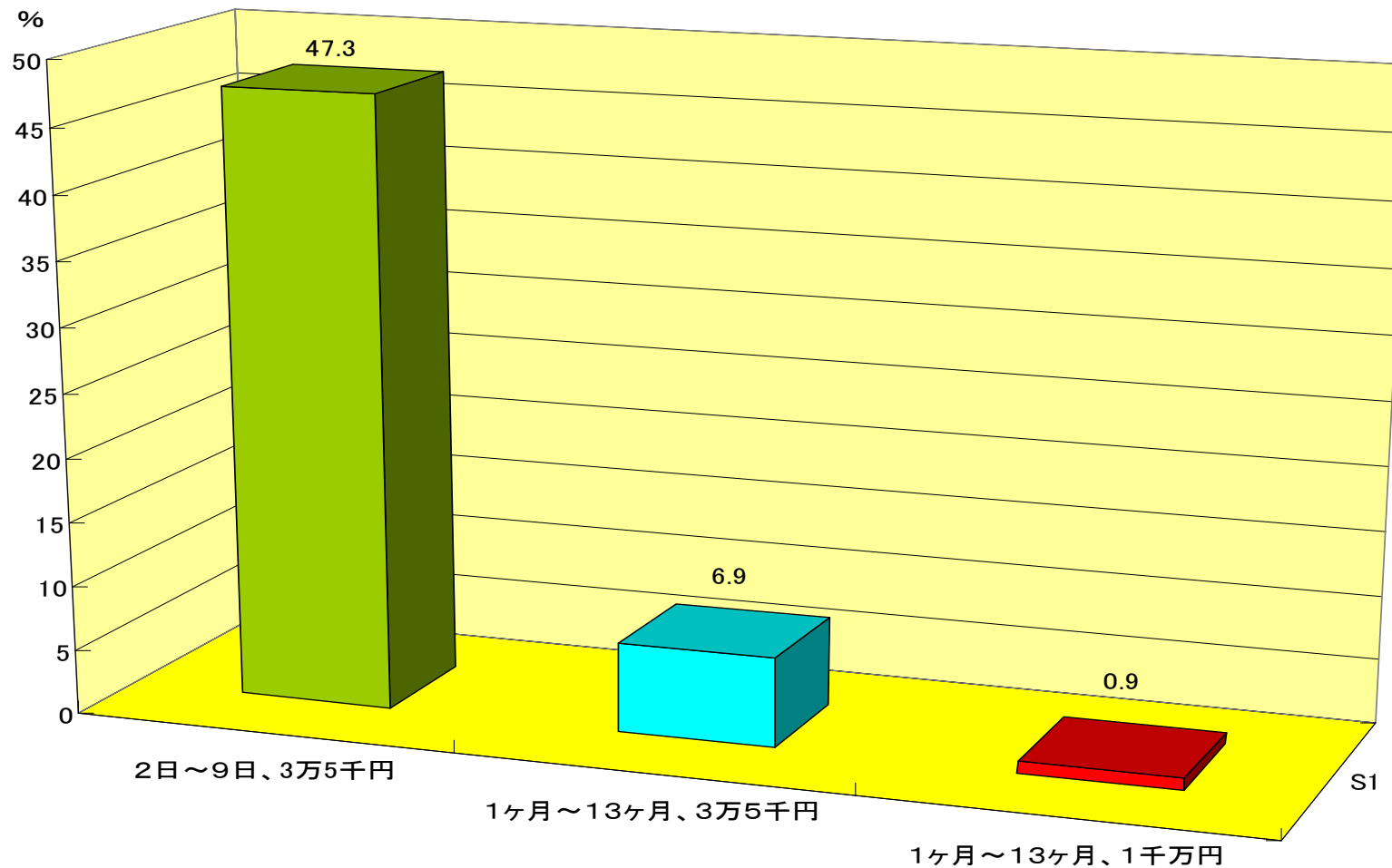
消費者金融会社
の期待利潤



時間割引率は直近ほど、高額ほど高い

経済実験の結果：

2004年3月
被験者63人
実際に選択金額を支払う



■ 2日～9日、3万5千円 ■ 1ヶ月～13ヶ月、3万5千円 ■ 1ヶ月～13ヶ月、1千万円

消費者金融市場は閉鎖すべきか

今回の上限金利引き下げは、消費者金融会社に大打撃

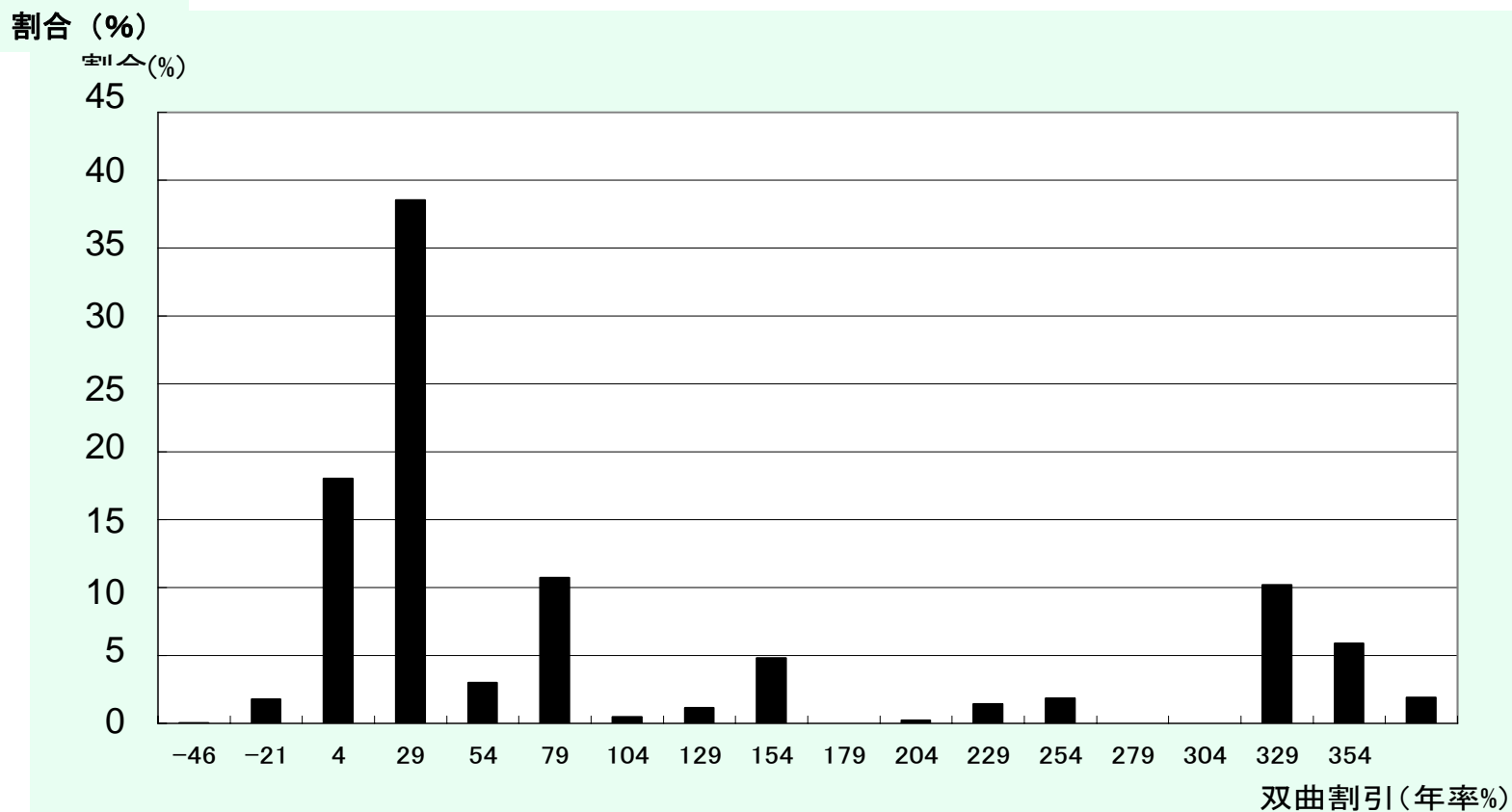
市場閉鎖のコスト＝正常な借り手が借りられない

市場閉鎖のベネフィット＝双曲割引の人が借りられない



双曲割引の人の割合を調べよう

双曲割引のヒストグラム：日本国民全体

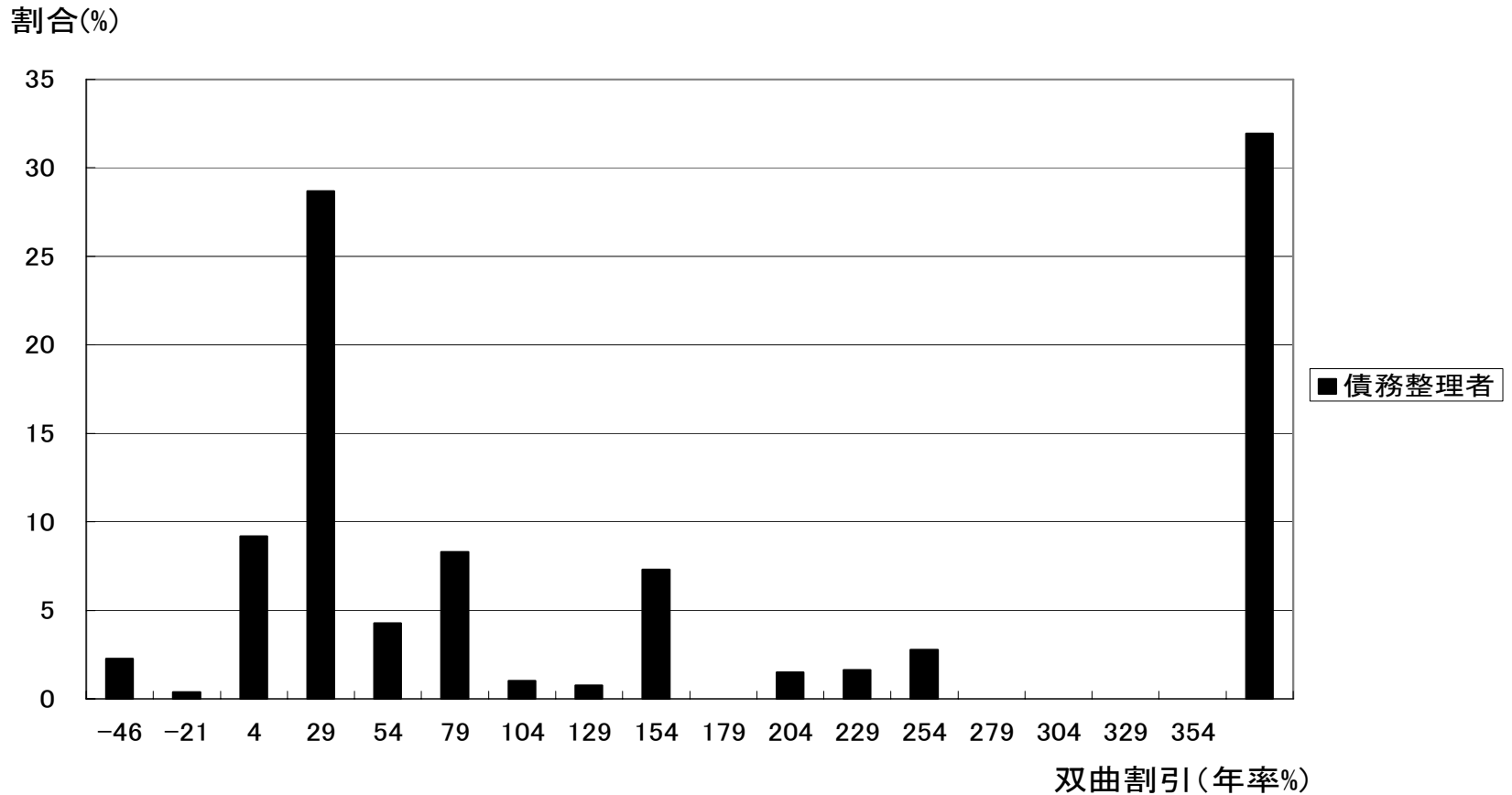


規制によって

2割から3割の人は厚生が**改善**

7割から8割の人は厚生が**低下**

消費者金融から借入経験者だけが、 潜在的な借入需要者であるとする



30%~39%の人は厚生が**改善**
7割から6割の人は厚生が**低下**

望ましい規制

- 違法な取立て、ヤミ金融の取り締まり
- 自己破産制度、生活保護制度の周知
- 既存の借り手の信用度(返済履歴)の適用金利情報を消費者金融会社が共有
- 返済不能に陥るリスクの説明の義務化
- 借り入れ希望者の非合理性のチェック方法を開発